

宮崎県知事 河野 俊嗣

新年を迎えて

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

皆様におかれましては、日頃から県政に対する温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、スポーツをはじめとする様々な分野において、本県の次なる成長に向けた基盤づくりが力強く前進した一年となりました。



まず、陸上競技場「KUROKIRI STADIUM」やプール「パーソルアクアパーク宮崎」など、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」の会場となる施設が完成しました。

さっそくサッカー・ラグビーの公式戦や、競泳韓国代表チームやテニス男子日本代表チームの合宿など、新たな利活用が着々と進んでいます。

今年は、体育館「アスリートタウン延岡アリーナ」と庭球場「ひなた TENNIS PARK MIYAZAKI」が全面完成するとともに、国スポ・障スポを来年に控え、競技別リハーサル大会が実施されます。引き続き、施設整備や競技力強化など、大会の成功に向けた準備を着実に進めてまいります。

水産業におきましても、県営では初となる衛生管理型荷さばき施設「北浦荷さばき施設」が昨年3月に完成いたしました。今後とも関係者の皆様たちと連携し、本施設を十分に活用しながら、品質・衛生管理の高度化による安全安心な水産物の提供や海外輸出の増加を図ってまいります。

また現在、水産試験研究体制強化基本計画に基づく水産試験場の再編・整備を着実に進めております。今年は、水温や光を制御できる飼育水槽を備えた最新鋭の種苗生産施設の工事に着手することとしており、本県水産業の成長産業化の実現に向けて、増養殖機能及び研究・教育機能の高度化や運営の合理化に取り組んでまいります。

令和8年度は「県総合計画アクションプラン」及び「3つの日本一挑戦プロジェクト（子ども・若者、グリーン成長、スポーツ観光）」が最終年度を迎えます。

このうち、グリーン成長プロジェクトにおいては、「漁港・漁場グリーン化事業」などの取組を引き続き推進し、漁港における藻場の造成などを通じて、ブルーカーボンの創出や海域の生産性向上を図ってまいります。

加えて、令和8年度は、第六次宮崎県水産業・漁村振興長期計画の後期計画がスタートいたします。本県水産業を取り巻く新たな情勢変化の波を乗り越え、成長産業化を実現するため、人口減少社会に対応した生産環境の拡大、成長をつかむ高収益化、気候変動に対応した持続可能な水産業の実現、力強くにぎわいのある漁村づくりの4つの視点で重点施策を掲げ、各取組を着実に推進してまいります。

今後とも、皆様の声に真摯に耳を傾けながら、安心と希望、そして活力あふれる宮崎県づくりに全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

